

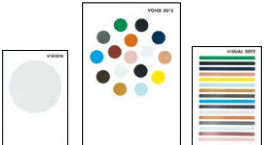
経営理念の変遷



第1版「理念ブック」

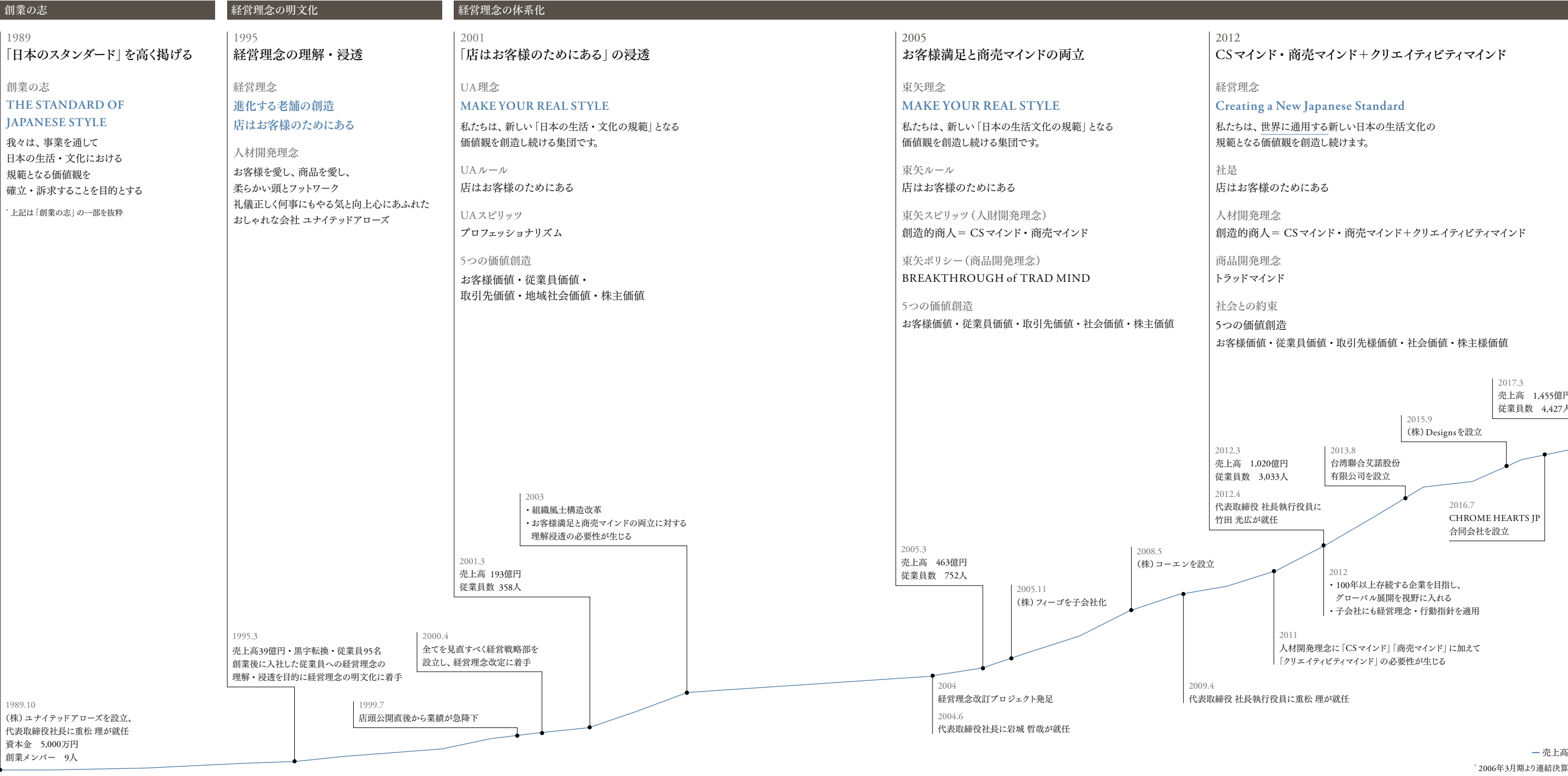


第2版「理念ブック」



第3版「理念ブック」

左より、経営理念が描かれた「VISION」、従業員の声を集めた「VOICE」、当社らしい風景というテーマで従業員から寄せられた写真で構成される「VISUAL」。



当社は、1989年の創業時に現在の経営理念の礎となる「創業の志」を掲げました。以来、経営理念の根幹である「新しい日本の生活文化の規範となる価値観の創造」を志に、「店はお客様のためにある」を全ての企業活動や判断の軸としています。

経営理念とは、当社が永続的に目指す方向、すなわち事業目的そのものです。当社は何のためにあるのか、私たちは何のために働くのかという認識を、多様な価値観を持つ従業員が共通に

持ち、同じ方向に進むための指針となります。この考え方こそが、社名「UNITED ARROWS」（＝束ねた矢）の由来でもあります。

経営理念の浸透により、全経営・従業員の目的が明確になり、実現へ向けて一人ひとりが自ずと考え、進化、改善を重ねながら突き進むことで、結果として、会社が目指す方向へ進むことができます。この理念経営が当社の持続的な成長を支えています。

創業以来、経営理念の根幹は変わっていません。本質はそのままに、経営環境や課題に応じて改定しています。その度に、当時の課題の解決を図りましたが、新たな課題も生まれました。経営環境の変化や業容拡大に伴う新たな課題解決のため、経営理念に立ち返るとともに見直しを図る、このようなプロセスを重ねています。改訂の都度プロジェクトを組むことで、従業員の理解浸透を一層図りながら、経営理念への思いを再確認する機会とし、風化

させないよう努力を続けています。2017年3月期は、経営理念へ共感する従業員が94%¹⁾となりました。2017年5月に公表した「UAグループ中期ビジョン」においては、4つの戦略の一つである「強い経営基盤の確立」に向け、最終年度となる2020年3月期までに理念ブックの3回目となる改訂を予定しています。4,000名を超え、今まで以上に多様な価値観を持った従業員が一人丸となって同じ方向に進むための新たな指針づくりが始まります。

¹⁾ 2016年実施 従業員意識調査より（回答率：82%）